

# 省エネ・節電実行計画 [R元年度 夏季] の結果報告

(実施期間：6月1日から9月30日)

## ◇エネルギー使用量削減目標

【夏季のエネルギー消費原単位 1%以上削減 (前年度比)】

平成30年度実績      令和元年度実績

- ① 東山地区 19.22 L/m<sup>2</sup> ⇒ 18.63 L/m<sup>2</sup>    1.6%減 目標達成
- ② 鶴舞地区 26.05 L/m<sup>2</sup> ⇒ 25.44 L/m<sup>2</sup>    2.3%減 目標達成
- ③ 大幸地区 6.62 L/m<sup>2</sup> ⇒ 6.04 L/m<sup>2</sup>     1.8%減 目標達成

⇒各団地の夏季月別エネルギー消費原単位の推移は右図を参照

## ◇ピーク電力削減目標

【契約電力を超過しないこと】

契約電力                      令和元年度実績

- ① 東山地区 19,096 kW ⇒ 18,732 kW (契約電力の 98.1%)
- ② 鶴舞地区 8,982 kW ⇒ 8,909 kW (契約電力の 99.2%)
- ③ 大幸地区 506 kW ⇒ 506 kW (契約電力の 100.0%)

## ◇名古屋大学全体における夏季エネルギー消費について 【前年度比】

エネルギー消費量 579,930 GJ ⇒ 573,572 GJ    1.1%減  
 エネルギー原単位 20.68 L/m<sup>2</sup> ⇒ 20.29 L/m<sup>2</sup>    1.9%減

※ 東山、鶴舞及び大幸地区の合算値 (3地区合計で大学全体エネルギー消費の約99%)

## ◇夏季実績に関する考察

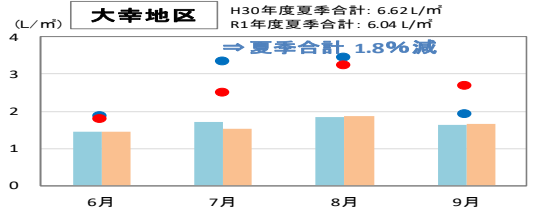
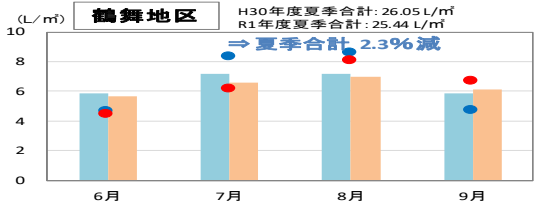
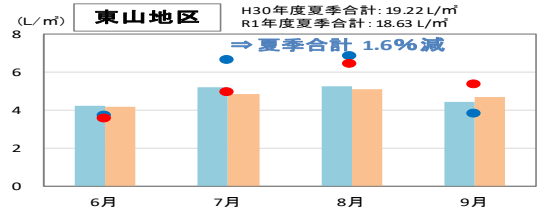
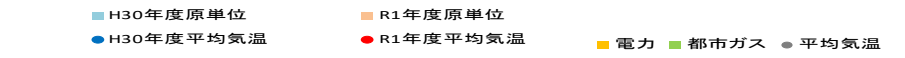
### <エネルギー使用量削減への取組>

・7~8月の間、情報基盤センターのスーパーコンピューター縮退運転(4/12ラック停止)を実施。これによる夏季期間中(6~9月)の削減電力量は約317,000kWhであり、東山団地の夏季全体電力量の約1%、原単位では約0.9%に相当する。

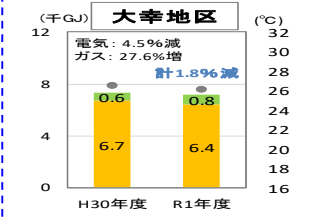
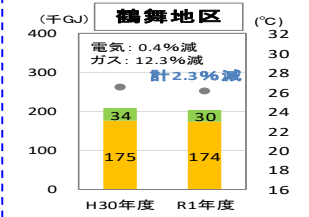
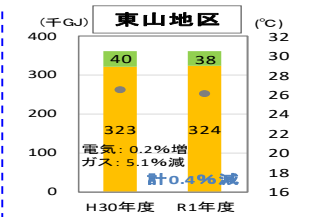
### <ピーク電力削減への取組>

オープンキャンパス(以下「OC」という)のピーク電力削減対策として以下の対策を行った。

- ・工学部では8/7にドラフトチャンバーの使用抑制キャンペーンを実施し、前週の同曜日と比較して48kWの電力を削減した。これは、工学部の通常日の電力に対して約1%に相当する
- ・理学部では8/7を節電日と設定して省エネを行い、前週の同曜日と比較して71kWの電力削減した。これは、理学部の通常日の電力に対して約2%に相当する。



月別エネルギー消費原単位



一次エネルギー消費量

- ・情報基盤センターのスーパーコンピューター縮退運転(4/12ラック停止)により前々週の同曜日と比較して479kWのデマンド抑制を行った。これは、通常日の電力に対して約28%に相当する。
- ・ナショナルコンポジットセンター(以下「NCC」という)では、OC期間中の実験を控えており、実験を行っている日と比較して417kWの電力を削減した。これはNCCの通常日の電力に対して約97%に相当する。
- ・8/7の最大電力が17,980kWのため、上記の対策をしなかった場合18,995kWとなり夏季の最大電力となり、契約電力の99.5%となる。

### <省エネ活動促進への取組>

- ・工学部、理学部、農学部電力消費が多い部局について学生による省エネラウンドを行い、10日間・延べ58人により824室を巡回し室内の状況(窓を開放していないか等)室温・エアコンの設定温度の確認、省エネのビラ配りを行い省エネの啓発活動に貢献した。